NO 16	既存住宅における太陽熱利用機器の導入と省エネルギー診断による省CO_2推進モデル事業	ソーラー/見える化/省エネアドバイス研究会 （代表：東京ガス株式会社）

提案概要	家庭分野で省エネルギーを推進するためには、「供給側」、「需要側」の両輪で対策を進めることが有効である。そこで、実際の住宅において供給側のシステムとして『エコジョーズ＋太陽熱温水による再生可能エネルギーの導入』、需要側の対策として『見える化、エネルギーレポート・省エネルギーアドバイス』の両面の取り組みを実施し、家庭部門における効果的な省エネルギー運用方法を確立し、その普及を図る。			
事業概要	部門	技術の検証	建物種別	住宅
	建物名称	白幡アパート（東京ガス社宅）他	所在地	神奈川県横浜市
	用途	集合住宅	延床面積	ー　㎡
	設計者	ー	施工者	ー
	事業期間	平成21年度		

概評	太陽熱利用システム、見える化、省エネアドバイスの3つを取り上げ、複数の取り組みケースを設定して省エネ効果や費用対効果を検証するものであるが、建物躯体の省エネ対策は無く、適用メニューも限定されているため、プロジェクト自身に先導性は認めにくい。ただし、太陽熱利用システムに関しては現在、実験・実証段階であるため、本提案にあるように現実の住宅に設置してデータ計測等を行なう意義は大きいと判断し、「技術の検証」として採択した。なお、本システムの特徴に留意し、検証の対象を集合住宅に限定した。

参考図

①バルコニー設置型ソーラーコレクター

・ユニットのコンパクト化（集熱面積約1㎡）
・手すりユニットと一体化し、1戸あたり1～2ユニットを垂直設置（省エネ率10～20%）

②貯湯タンク

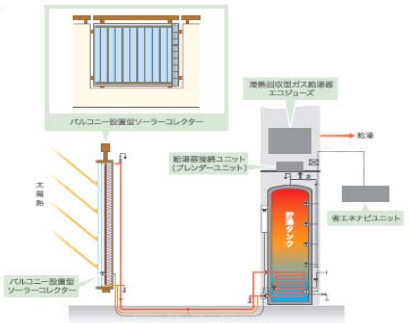
・貯湯容量100リットル程度のコンパクトなタンク

③給湯器接続ユニット

・瞬間式給湯器と接続するブレンダーユニットの低コスト化を目指す。

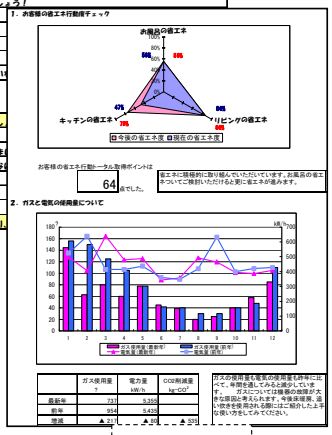
④省エネナビユニット

・リモコンに太陽熱利用量を表示することにより、ユーザー自らが太陽熱の利用状況を把握できる。

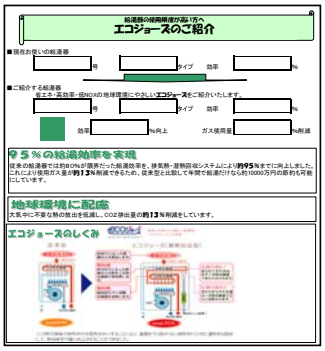


次世代ソーラーシステムイメージ図

省エネ行動チェックリスト



分析シート



省エネ型機器のご紹介シート